

令和4年2月10日
(2022年)

保護者の皆様へ
(家庭数配付)

学校教育アンケートの結果について

吹田市立東佐井寺小学校
校長 内田 祐子

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。過日ご協力いただいた学校教育アンケートでは保護者400名の方にご回答をいただきました(回収率94.7%)。結果を集計し、資料を作成いたしましたのでご覧ください。アンケート結果をもとに学校の教育活動が児童の実態や保護者の思いに対応できているかを検証し、今後の取り組みに活かしていきたいと考えております。

1. 児童アンケートから

※ほとんどの設問で昨年度と大差はなく、ほぼ同傾向でした。しかし「思う」「少し思う」を合わせて「肯定的回答」としてはありますが、そのうちの「思う」の割合の減少傾向があり、課題が残りました。(○肯定的 ◆課題)

- ① 授業・行事等を通して育てていきたいこと
- 「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる(高学年のみ回答:以下高学年)」では、肯定的回答が96%(昨年度94%)でした。
 - 「運動会や遠足などの学校行事は楽しい」と肯定的な回答は高学年97%、低学年においては100%でした。
 - ◆「児童会活動には、積極的に参加している(高学年)」は、肯定的な回答が83%で、昨年度の89%より下回りました。感染拡大防止対策のため、異学年との交流など活動が長期にわたり制限されたため、児童の意欲を十分にくみ取ってあげられなかった結果であるととらえています。しかし、「どんなことができるか」を考え、子ども発信で始まっている活動もたくさんあります。「東佐井寺小の高学年」として、学校がより楽しく安心して過ごせるよう活動してくれていることをしっかりほめ、次につなげてまいります。
 - ◆「学校へ行くのが楽しい」の否定的回答が昨年度同様に8%ありました。コロナ禍における制限のせいにするのではなく、一人ひとりが楽しく、安心・安全に過ごせる学校づくりを引き続き全教職員で努めてまいります。
- ② 自分の思いを伝える
- 「授業などで伝え合うことの大切さについて、考えることがある(高学年)」では、令和元年度84%から現在は93%と上昇傾向にあります。吹田市いじめ防止事業「GRE-ENプロジェクト」での授業などいじめを未然に防ぐため、思いを伝えることの大切さを繰り返し伝えていく成果とうれしく思います。
 - ◆「学級は、自分の意見が言える場になっている。(高学年)」89%、「話し合いの時、自分の思っていることが言える。(低学年)」88%でした。10%以上の子どもが思いを語れない現状があります。
 - ◆高学年において「気軽に相談することができる先生がいる」では肯定的回答が85%(昨年度80%)で、昨年度より上回りました。担任だけでなく、いろんな先生に話せるようになってきていることはうれしいですが、否定的意見が15%あり、引き続き本心を語ることに難しい子どもたちの現状が伺えます。自分一人で抱え込み、我慢させないよう、子どもの気持ちや保護者の考えに寄り添い、いざという時には頼れる存在であるよう、職員の資質向上を図ってまいります。子どもたちが安心して過ごせる学級・学団

気づくりにより留意し、自分の意見を伝える大切さを実感できるように取り組んでまいります。

2. 保護者アンケートから

※ほとんどの設問で昨年度と大差はなく、ほぼ同傾向ですが、全体的に肯定的比率の減少傾向が見られます。特に、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる学校運営上の項目について、大幅な減少がみられました。

- ① 教育活動に関するもの
- 昨年と同様に「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」の肯定的な回答が96%（昨年度96%）あり、学校から発信している情報をしっかりと受け取っていただけていることをうれしく感じています。
 - 「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」という回答では7%、「（保護者ご自身は）学校との意思疎通を積極的に図っている」も11%近く『思わない』との回答がありました。しかし、昨年度よりどちらも否定的回答は減少しています。参観の機会が持てず、お子様の学校での様子がわかりづらく、懇談だけではご不安な点も多々あると推察されます。保護者・地域の方にとって知りたい情報や様子を伝えているかを意識し、情報を発信していきけるよう気を付けます。
 - 「先生は、子どもについての相談に適切に応じている。」→97%、「先生は、子どもの間違った行動に、厳しく指導している。」→95%、「先生は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。」→96%と、昨年度とほぼ同等に評価いただいています。子ども・家庭・学校との信頼関係で成り立っているとうれしく思います。学校は多くの児童が学ぶ場であることから、その秩序を維持するため、毅然とした態度で指導することも大切です。しかし、言葉は、人と人との意思や感情を伝える大事な媒体ですが、相手への伝わり方によっては深く傷つけ不信感を抱かせる場合もあります。指導者として自分本位にならず、信頼関係を損なわぬよう、引き続き資質の向上を図ってまいります。
 - ◆「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」項目では94%（昨年度96%）肯定的意見をいただきました。教職員の研修を継続するとともに、学期に1回生活アンケートを実施し、児童が示すサインを見逃さないよう早期発見に努めてまいります。（しない・させない・見逃さない）
子どもたちはどんな理由があってもいじめはだめなことは理解しています。しかし、今年度も実施しているいじめ防止授業で学んだ「シンキングエラー（まちがっている考え：「みんながやっているから。」「相手は嫌とっていない。」等）」「アンバランスパワー（力の差）」をおこしてしまう場合があります。その際、子どもが課題を理解し、改善していこうという気持ちや態度を育てることが大事であると考えています。今後も子どもとの関係づくりを大切にし、指導してまいります。
 - ◆「子どもは学校へいくのを楽しみにしている。」肯定的回答は92%（昨年度91%）でした。児童アンケートと同様に8%の否定的回答を重く受け止め、一人でも多くの児童が「より楽しい」と思える安心・安全な学校をめざします。
- ② 学校運営に関するもの
- 「地震や台風などの場合の対応について、児童や保護者にマニュアルが知らされている。」での肯定的意見は、昨年度と同様99%と回答をいただきました。今年度は保護者による引き取り訓練へのご協力ありがとうございました。今後も万一に備え、いざという時に必要な訓練を実施してまいります。毎年4月当初に「台風時・地震時等における安全対策について」という手紙を配付しますので必ずご確認をお願いいたします。

◆「授業を参観する機会をよく設けている」の肯定的回答は77%（昨年度91%）で大きく減少しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のためとはいえ、保護者の方には体育参観1回のみしか公開できておらず、ご不安もあったと思います。通常であれば4月・5月（日曜参観）・プール参観・10月（運動会）・11月（学校公開）、2月と、月1回程度公開できるよう計画していますが、感染拡大防止のため来年度の見通しも残念ながらたっておりません。今後も可能な形で工夫しながら計画を進めてまいりたいと考えていますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひします。

◆「学校は、幼稚園や中学校と交流している様子をわかりやすく伝えている。」での肯定的な回答は79%とでした。11月26日に6年生は中学校へクラブ体験に行くことができましたが、昨年度と同様、佐井寺中学校校区としての取り組みは最小限にとどまっています。交流の様子は学校HPにのせていますが、今後、伝達方法について工夫してまいります。

③ 保護者ご自身に関すること ○「学校の教育方針や活動内容について関心を持っている。」では97%（昨年度97%）の肯定的回答をいただきました。今後も「子どもたちにとって」を軸に据え、学校と保護者が手を携えてよりよい教育環境になるよう努めてまいります。

④ 自由記述より

自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。その一部となりますが、ご意見を紹介します。いただきました皆様の意見について、しっかりと考察しながら、本校の教育活動の改善に生かしていきたいと思っております。

☆学校だより等の連絡について

- ・行事の連絡をもう少し早く知らせてほしい。
- ・仕事の都合があり、学校だよりなど月末配付では少し遅い。
- ・学校だより・学年だより等情報が統一されていないように感じる。
- ・行事のお知らせの時等にどういった事をするのか説明書きがあるとうれしい。
- ・参観がないので様子がわからない。学級だよりなどで知らせてほしい

例年ご要望をいただきながら、改善に至らず深く反省しております。学校へ毎月初めに翌月の市の予定の連絡が来ます。そこから学校で検討し、月の後半の職員会議で行事が確定するため、学校だより等は月末もしくは月はじめに配付しています。しかし、お仕事の都合もあるかと思われまますので、学校だよりで可能な限り翌月の予定をお知らせするとともに、参観等保護者の皆様が関わる大きな行事については、年間行事予定としてあらかじめ年度当初に配付いたします（例年年間予定を大型連休までには配付していましたが、今年度は宣言発令中で見通しがつかなかったため、配付することができませんでした）。来年度の大きな行事については、今年度内の学校だよりに掲載予定です。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅に行事等が変わりました。市の対策会議の結果を経てから正式に決まることが多く、急な変更が多々ありご迷惑をおかけしました。残念ながら、引き続き新型コロナウイルス感染状況により、形態や実施時期が変動する可能性があります。提案・決定時期を早め、決定次第、学校だよりや学年だよりを通じて早めに連絡できるように努めます。

学校HPにある「校長日記（ブログ）」について、可能な限り更新に努め、子どもたちの学校の様子を配信してまいりますので、ぜひご覧置きください。

☆SUN ネット端末（タブレット）について

- ・タブレットを活用した連絡があるのも便利でいい。
- ・タブレットの支給はいいが、通常に登校できているのであれば、家に持ち帰らなくていいのでは。
- ・連絡帳が子ども自身に書かせるべき。

学校でも家庭でもデジタルメディアが当たり前の現代だからこそ、子どもたちが自分でデジタルメディアとどう向き合うか主体的に考える力を育む必要があると考え、吹田市では、「デジタルシティズンシップ教育」を全校で実施しています。デジタルシティズンシップ教育のあり方にのっとり、①責任を持ち、積極的に活用すること②デジタル空間も公共の場ととらえること③立ち止まって考えること、そしてGIGAスクール構想の考え方④SUN ネット端末は学習に使うことの4つを柱に活用しています。よって、学習に関係ないメッセージのやり取りや使用は禁止です。児童への考え方の徹底が不十分であり、大きな課題と受け止めています。本校でも情報教育推進委員会を設置しており、引き続き使用についてのルールもふくめ、検討しています。

毎日持ってくる持ち物が全体的に重くなっています。家で活用しない教科書を学校に置いておくなど学年・発達段階に応じて対応してい

- ・夜間・土日を含めたメッセージのやり取り等、共通ルールを決めてほしい。
- ・荷物が重い。

るところです。

また、パスワードやアップデートなどご家庭における対応ありがとうございます。これからの時代活用が当たり前とはいえ、今現在としてはまだまだ不具合等や改善すべき点が多々あります。子どもたちがICTのよき使い手となるための「適切で責任ある行動」がとれるよう職員自身の指導力・資質の向上に努めてまいります。

3. まとめにかえて

お忙しい中、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からいただいた一つひとつのご意見は、学校運営を考えていく上での貴重なご意見と真摯に受け止めさせていただきます。回答していただいた皆様の声を大事にしながら、今後も子どもたちにとって安全で安心して学べる、よりよい学校を目指してまいります。

毎年行っている学校自己診断アンケートは、その結果を考察し、明日からの教育活動に活かすことに大きな意味を持っています。子どもたちがすくすくと成長していくためには、学校だけの力では到底成し得ません。学校の状況や教育に関する情報は、できる限り伝える機会をもちたいと考えております。特にコロナ禍において学校生活の様子を十分公開できない中では、学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを利用しながら、日々の子どもの様子だけではなく、教育活動のねらいや目的を明記した記事をアップすることも必要だと感じております。今後も「いじめのない学級づくり」、「楽しくわかりやすい授業」に取り組み、「学校へ行くのが楽しい」、「授業がわかりやすい」といえる「安心・安全」な学校づくりを目指します。今後とも東佐井寺小学校の教育にご協力をよろしく願いいたします。

☆令和三年度 保護者アンケート集計結果☆		思う	少し思う	思わない
(1) 教育活動に関するもの	1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	55%	41%	4%
	2 学校は、保護者や地域の願いに応えている。	53%	45%	2%
	3 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にかみ細かく行っている。	54%	39%	7%
	4 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	49%	45%	6%
	5 「あゆみ」は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるよう工夫されている。	50%	42%	8%
	6 子どもは、学校へいくのを楽しみにしている。	63%	29%	8%
	7 先生は、子どもについての相談に適切に対応している。	65%	32%	3%
	8 先生は、子どもの間違った行動に、厳しく指導している。	58%	37%	5%
	9 先生は、子どもをよく理解している。	57%	37%	6%
	10 よく学校は、いじめのない学級作りに取り組んでいる。	54%	40%	6%
	11 学校は、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	55%	40%	5%
	12 児童会行事や運動会 校外学習などの学校行事は、子どもが積極的に参加できるように工夫	68%	27%	5%
	13 学校は、子どもに命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	64%	33%	3%
	14 先生は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	60%	36%	4%
(2) 学校運営に関するもの	1 地震や台風などの場合の対応について、児童や保護者にマニュアルが知らされている。	86%	13%	1%
	2 学校は、施設や設備など学習環境の整備に努力している。	65%	33%	2%
	3 学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。	68%	29%	3%
	4 学校は、幼稚園や中学校と交流している様子をわかりやすく伝えている。	34%	45%	21%
	5 学校は、保護者が授業を参観する機会をよく設けている。	35%	42%	23%
	6 学校が保護者に出す文書や事務連絡は、適切である。	63%	32%	5%
	7 学校は、保護者や地域の方々と話をする機会を多く持っている。	36%	46%	18%
	8 学校では、PTA活動が活発である。	40%	48%	12%
(3) 保護者ご自身に関すること	1 学校の教育方針や活動内容について、関心を持っている。	47%	50%	3%
	2 学校との意思疎通を積極的に図っている。	38%	51%	11%
	3 通知表を見て、子どもと話し合う機会を持っている。	66%	32%	2%
	4 授業参観 懇談などには、よく参加している。	75%	23%	2%
	5 学校が保護者に出す文書や事務連絡などは、よく読んでいます。	59%	39%	2%
	6 PTA活動には、よく参加している。	18%	39%	43%
	7 子どもの学校での生活について、よく知っている。	28%	60%	12%
	8 子どものノートやプリントなどを、よく見ている。	38%	51%	11%